

# 新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化箇所）

担当課：四国地方整備局道路部地域道路課  
 担当課長名：恒石 和義

事業名	市道 喜田村新谷線	事業区分	地方道	事業主体	今治市
起終点	自：愛媛県今治市町谷 至：愛媛県今治市新谷			延長	1.7km

### 事業概要

市道喜田村新谷線は、今治市町谷～新谷間延長約1.7kmの幹線道路であり、高規格道路今治小松自動車道の今治朝倉IC（仮称）と国道196号線今治バイパスを結ぶ2車線道路である。

### 事業の目的、必要性

喜田村新谷線は、今治朝倉IC（仮称）から国道196号線今治バイパスを結び、今治市の中心部へと達する唯一の路線であり、今治朝倉IC（仮称）とのアクセス機能を向上させる道路整備として、地域にとって欠くことのできない道路である。

全体事業費	20億円		計画交通量	4,600台/日	
費用対効果分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年	
	2.4	16億円 事業費：16億円 維持管理費：0億円	38億円 走行時間短縮便益：37億円 走行費用減少便益：1億円 交通事故減少便益：0億円	平成15年	

### 事業の効果等

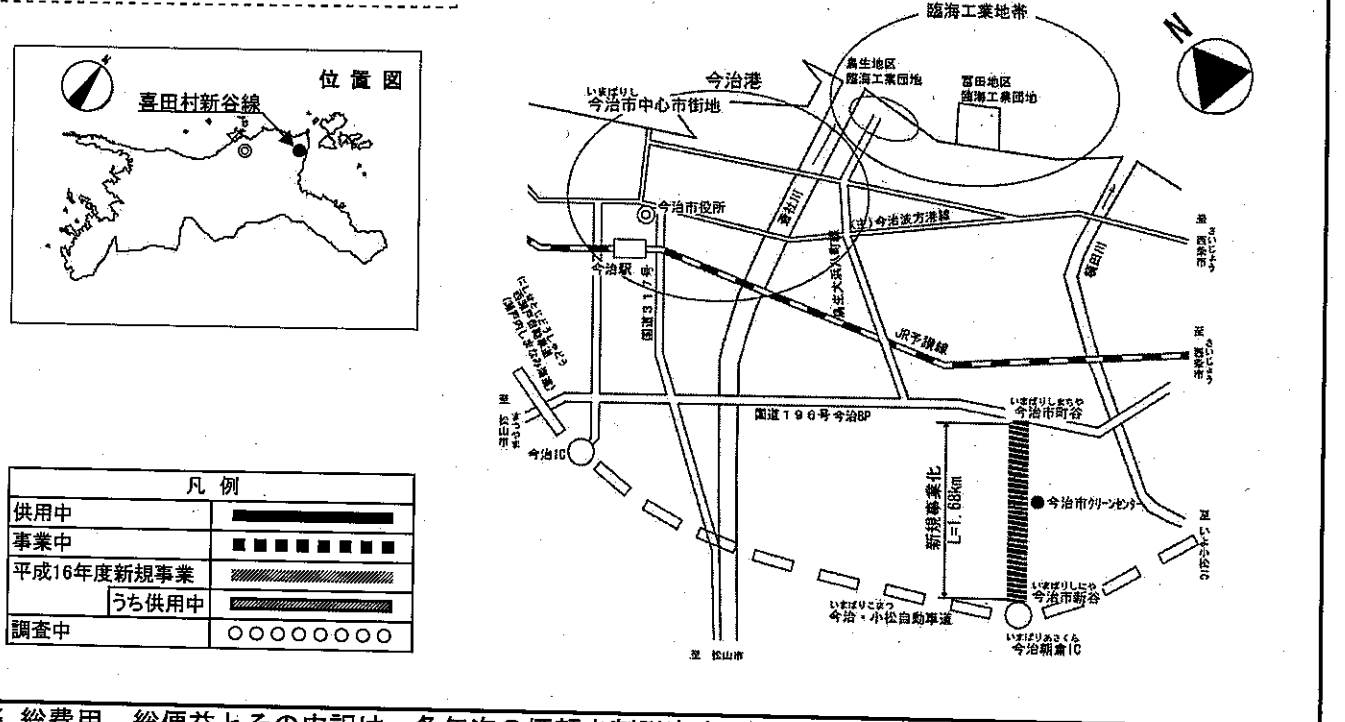
- ・物流効率化の支援（今治小松自動車道、重要港湾今治港へのアクセス向上が見込まれる）
- ・他プロジェクトとの関係（今治小松自動車道今治朝倉IC（仮称）への連絡道路）

他3項目に該当

### 関係する地方公共団体等の意見

平成3年12月に都市計画決定されており、今治朝倉IC（仮称）からの利用車両を喜田村新谷線により国道196号線今治バイパスへ分散することで、県道の交通渋滞の緩和や地域の安全性の向上が期待されている。

### 事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。